

# 序 章 近現代中国を見る視座

浅野 亮一

- 1 本書の目的 ..... 1
  - 2 歴史の捉え方 ..... 2
  - 3 中国近現代史研究の変容 ..... 3
  - 4 前提の見直し例——外的要因重視への批判  
見直しの背景と動因 ..... 7
  - 5 近現代通史——断絶から連続性の強調へ ..... 10
  - 6 断絶と連続性に関する議論の背景 ..... 15
  - 7 「革命史観」の見直し 「革命史観」からの脱却 「革命史観」の見直しに対する批判  
代替的説明の追求 ..... 19
- ゆらぐ歴史 因果関係 變数、主体、概念 断絶と連続性 分野・次元
- 事例・政治主体の相違と共通点——国民党と共産党  
事例・政治主体の相違と共通点——基層幹部と郷紳  
事例・分野・次元——政治革命と社会革命のずれ

## 8 本書のアプローチと構成

二一世紀初頭における中国近現代史研究の課題 関連する理論研究(1)——統合論  
関連する理論研究(2)——歴史的制度論 本書の構成方針

## 第一I部 近現代の中国政治史

43

### 第一章 清朝後期から民国期まで——一八三〇～一九三七年

川井 悟 45

#### 1 清朝後期の統治体制

夷務への対応 地方の統治と太平天国の乱への対応 改革・変革構想とその試み

46

#### 2 中華民国北京政府時期の統治体制

辛亥革命から北京政府時期の概観 北京政府の統治体制 辛亥革命で変わったもの

54

#### 3 中華民国南京国民政府時期の統治体制

研究史上の南京国民政府の評価 北伐と清党、国民會議

62

南京国民政府の統一化と近代化 外国から見た南京国民政府

#### 4 研究史

日本における中国近現代史研究 史料利用の落とし穴

国家・政権・組織の叙述法に見られる落とし穴 歴史の流れと個人

70

### 第二章 抗日戦争期——一九三一～四五年

1 満洲事変とその衝撃

内田尚孝 85

南京国民政府成立時期の中國内政　満洲事変の勃発と国民政府の対応  
長城線をめぐる日中の攻防と塘沽停戦協定締結

2 華北分離工作の展開と抗日運動の拡大

　　華北危機の進行　抗日救國運動の深化と拡大

3 国共関係の新展開と抗日民族統一戦線の形成

　　全民抗日に向けた新たな政治空間の展開　東北問題と華北問題の再結合——西安事件

4 日中全面戦争勃発

　　日中戦争の全面化と第二次国共合作の成立　　国際社会の反応と抗戦体制の構築  
　　近代日本の大陸政策の到達点

5 アジア太平洋戦争への拡大と中国戦線

　　世界大戦化する日中戦争　連合国側戦後構想の具体化と戦争終結

6 総力戦体制構築から国共内戦へ

　　統制強化か民主化か——国民政府支配地域

　　強化される党内ガヴァナンス——中共支配地域　遠のく戦後平和

　　国共内戦の全面化と中共の勝利

7 研究史

第三章　中華人民共和国建国から改革開放まで——一九四五—八一年

1 国共内戦と中華人民共和国建国

　　国共内戦の解釈　国家と政権に関する構想

2 朝鮮戦争と国家建設

　　朝鮮戦争　国家体制の変容

### 3 大躍進と文化大革命

大躍進 文化大革命 文革の原因

### 4 文革終了から「歴史決議」まで

解釈と時期区分 試行錯誤の中の改革開放

### 5 米中接触、日中国交正常化

米中接触の衝撃 日中国交正常化の解釈

### 6 研究史

研究史の重要性 時期区分

## 第四章 改革開放から建国六〇周年まで——一九八二—二〇一〇年

阿部純一

### 1 邓小平体制

「歴史決議」から第一二回党大会へ 「独立自主外交」に見る戦略転換

鄧小平の戦略——毛沢東路線からの発展 「改革開放」をめぐる闘争と六・四天安門事件  
冷戦終結と中国の対応——孤立回避外交と「中国脅威論」の出現

### 2 江沢民政権

ポスト鄧小平を託された江沢民 海洋へ進出する戦略展開

中台対話から台湾海峡危機へ 米中関係の修復、香港返還、そしてポスト鄧小平の時代へ  
国力構成要素としての軍事力 「新安全保障観」の提起と多国間外交の重視

### 3 胡錦濤政権

「三つの代表」と第一六回党大会 習近平を後継者に抜擢した第一七回党大会  
「富国と強軍の統一実現」を目指す中国

### 4 建国六〇周年軍事パレードに見る中国政治の現実

## 第二部 近現代中国の政治・経済・社会

### 第五章 近現代中国における交通・通信制度の形成

内田知行

1 清朝後期から北京政府の時代——一八四〇—一九二七年  
清朝後期（一八四〇—九四年）

清末から中華民国北京政府の時代（一八九五—一九二七年）

2 南京国民政府の時代——一九二八—三六年

鉄道 公路 水運 民間航空 通信

3 重慶国民政府および後期南京国民政府時代——一九三七—四九年

鉄道 公路 水運 民間航空 通信

4 人民共和国建国前期——復興・大躍進・調整の時代、一九四九—六四年

交通通信部門の就業者 交通通信網の趨勢 軍による交通部門の支配  
郵便事業の展開

5 統一的市場圏の形成にむかって

### 第六章 国家アイデンティティと国民国家形成——外交・戦争・華人との関わり

岡部達味

1 近代中国の出発点

「華夷秩序」から近代化へ 近代化と国民国家

2 中國における「國民形成」の開始···

「國民形成」の困難性 「日清戦争」の限界

「中華民族」を目指して

3 屈辱の歴史と対外関係···

「國益」の追求へ 列強による侵略

4 「中國外交」の始まり···

日中対決とナショナリズム 反帝国主義と反日

5 日本との戦争···

遅れてきた帝国主義 日中戦争から国共対立へ

6 華僑・華人と「國民意識」···

華僑・華人と國民形成 新しい中・東南アジア関係

7 中華人民共和国の成立···

毛沢東時代 改革開放と中国の将来

## 第七章 国旗・国徽・国歌——「中国」をめぐるシンボルとアイデンティティ

貴志俊彦···

1 中国における国歌制定のプロセス···

清末民国期の国歌 「義勇軍行進曲」成立に至るまで 「風雲兒女」の封切

「義勇軍行進曲」の国歌化 建国初期の「義勇軍行進曲」 国歌の成立

2 中華民国および戦後台湾における「国旗」「国歌」制定のプロセス···

二つの中華民国 戰後台湾における「国旗」と「国歌」

3 香港・マカオにおける「旗」のもつ意味···

HONG KONGから香港特別行政区へ MACAUから澳門特別行政区へ

## 第八章 外国政治思想と国家アイデンティティ

萩原 稔

1 日清戦争から辛亥革命まで

変法派と革命派 「國權」の強化への傾斜

2 辛亥革命から国民革命まで

辛亥革命と新文化運動 日中間の思想交流の進展 新たな国家建設の理論

3 満洲事変から抗日戦争終結まで

ファシズムへの接近と新生活運動 国民党への批判の展開

4 「アジア主義」への対応

中国からの「アジア主義」 日中戦争期の「アジア主義」

5 国家形成の理念の多様性

## 第九章 一〇世紀中国政治と「革命」

田中 仁

1 中国革命の見方

2 二〇世紀中国の革命

辛亥革命・国民革命・共産革命 革命の主体 革命の思想（戦略）

3 革命をめぐる環境

辛亥革命 国民革命 共産革命

4 二〇世紀中国革命と社会

農村の変容 共産革命と女性 共産革命と社会の再編 諸民族の統合

# 二〇世紀中国革命とモンゴル・新疆・チベット

## 5 人民共和国の六〇年

共産革命の展開 ポスト革命時代と東アジア

## 6 研究史

320

## 第十章 現代中国の政治・社会変動

—戸籍制度の抱える矛盾、公共領域の衰退

阿古智子  
326

### 1 現代中国を見る視点

326

### 2 農村のフィールドから

328

農民負担問題 村民自治 上訪

326

### 3 社会関係の変容と公共領域の衰退

337

社会関係資本 有形・無形の文化遺産

337

### 4 土地の私有化をめぐる議論

土地・戸籍・食糧生産 農地の株式化

342

### 5 「公」「私」「共」の行方

基層リーダーの役割 公徳心のない個人

346

## 第十一章 党・政・軍三位一体の「統治構造」

三宅康之  
350

### 1 本章のアプローチ

351

「統治構造」とは 集権化と分権化のサイクル

355

## 第十二章 毛沢東時代

318

占領統治期における制度建設（一九四九～五二年）

318

第一次五カ年計画期における集権体制の成立（一九五三～五七年） 大躍進期の分権化

調整期の集権化（一九六一～六五年） 文化大革命 華国鋒政権期

3 鄧小平時代

鄧小平時代前期 鄧小平時代後期

4 江沢民時代以降

江沢民時代前期 江沢民時代後期 胡錦濤—溫家宝政権

5 政治構造変動の特徴と基底要因

6 研究史

コラム 戰争と国家形成

浅野 亮  
393 388 386

おわりに 403

中国近現代史年表

415

人名・事項索引